

平成16年 紀伊半島沖を震源とする地震及び 東海道沖を震源とする地震について（第3報）

これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

下線部は前回からの変更箇所

平成16年9月14日
19時00分現在
内 閣 府

1. 地震の概要（気象庁情報）

紀伊半島沖を震源とする地震

- (1) 発生年月日 平成16年9月5日19時7分頃
- (2) 震源地 紀伊半島沖（北緯33度01分、東経136度48分）
- (3) 震源の深さ 約38km
- (4) 規模 マグニチュード6.9（暫定値）
- (5) 各地の主な震度（震度5弱以上）

震度5弱	奈良県	下北山村
	和歌山県	新宮市

東海道沖を震源とする地震

- (1) 発生年月日 平成16年9月5日23時57分頃
- (2) 震源地 東海道沖（北緯33度08分、東経137度08分）
- (3) 震源の深さ 約44km
- (4) 規模 マグニチュード7.4（暫定値）
- (5) 各地の主な震度（震度5弱以上）

震度5弱	三重県	松阪市、香良洲町
	奈良県	下北山村
	和歌山県	新宮市

有感地震回数（9月14日17時00分現在）

49回（M6.9，M7.4の地震を含む）

津波

《気象庁で常時観測している検潮所における津波観測状況》

19時07分頃の地震による

神津島神津島港	第1波	5日19時57分	(-)	0.4m
	最大波	5日20時05分		0.5m
南伊豆町石廊崎	第1波	5日19時54分	(-)	0.4m
	最大波	5日20時04分		0.3m
尾鷲	第1波	5日19時30分	(+)	0.3m
	最大波	5日19時49分		0.3m

那智勝浦町浦神	第1波	5日19時26分	(+)	0.2m
	最大波	5日19時30分		0.2m
串本町袋港	第1波	5日19時27分	(+)	0.2m
	最大波	5日20時02分		0.3m
白浜町細野	第1波	5日20時05分	(+)	0.1m
	最大波	5日20時11分		0.1m
室戸市室戸岬	第1波	5日19時46分	(+)	0.2m
	最大波	5日20時24分		0.3m

23時57分頃の地震による

三宅島坪田	第1波	6日00時29分	(-)	0.2m
	最大波	6日00時50分		0.4m
神津島神津島港	第1波	6日00時44分	(-)	0.5m
	最大波	6日00時53分		0.8m
三宅島阿古	第1波	6日00時31分	(-)	0.2m
	最大波	6日00時58分		0.5m
父島二見	第1波	6日01時22分	(+)	0.1m
	最大波	6日02時16分		0.4m
沼津市内浦	第1波	6日01時16分	(-)	0.2m
	最大波	6日02時08分		0.3m
南伊豆町石廊崎	第1波	6日00時28分	(-)	0.3m
	最大波	6日00時53分		0.7m
御前崎	第1波	6日00時58分	(-)	0.4m
	最大波	6日01時30分		0.5m
鳥羽	第1波	6日00時46分	(+)	0.1m
	最大波	6日02時09分		0.3m
尾鷲	第1波	6日00時21分	(+)	0.6m
	最大波	6日00時41分		0.6m
那智勝浦町浦神	第1波	6日00時17分	(+)	0.6m
	最大波	6日00時21分		0.6m
串本町袋港	第1波	6日00時20分	(+)	0.9m
	最大波	6日00時22分		0.9m
白浜町細野	第1波	6日00時33分	(+)	0.2m
	最大波	6日01時33分		0.2m
和歌山	第1波	6日01時08分	(+)	0.1m
	最大波	6日02時15分		0.1m
小松島	第1波	6日01時04分	(+)	0.1m
	最大波	6日01時54分		0.1m
室戸市室戸岬	第1波	6日00時36分	(+)	0.4m
	最大波	6日00時49分		0.5m
土佐清水	第1波	6日00時54分	(+)	0.2m
	最大波	6日01時17分		0.3m

《津波警報・注意報の発令状況》

津波注意報 19時14分発表 20時15分発表	三重県南部、和歌山県 伊豆諸島、小笠原諸島、静岡県、愛知県外海、徳島県、高知県 津波注意報を解除(21時15分)
-------------------------------	----------------------------------------------------------------

津波警報 00時01分発表 00時03分発表	和歌山県 愛知県外海、三重県南部 津波警報を解除(02時40分)
津波注意報 00時01分発表 00時03分発表	徳島県、高知県 千葉県九十九里・外房、伊豆諸島、小笠原諸島、静岡県、伊勢・三河湾 津波注意報を解除(02時40分)

2. 避難の状況(消防庁調べ: 9月13日12時00分現在)

(1) 紀伊半島沖を震源とする地震

避難勧告 なし

自主避難

都道府県名	市町村数	世帯	人数	備考
三重県	0	0	0	ピーク時5市町村, -世帯, 95人
計(判明分)	0	0	0	

(2) 東海道沖を震源とする地震

避難勧告

都道府県名	市町村	世帯	人数	勧告	備考
三重県	10	36,288	95,241	9/5 23:58 ~ 9/6 0:42	9/6 3:20までに全て解除
和歌山県	2	調査中	523	9/6 0:02 ~ 0:20	9/6 2:40全て解除
計(判明分)	12	36,288	95,764		

自主避難

都道府県名	市町村数	世帯	人数	備考
静岡県	0	0	0	ピーク時1市町村, 1世帯, 2人
愛知県	0	0	0	ピーク時1市町村, -世帯, 270人
三重県	0	0	0	ピーク時14市町村, 132世帯, 388人
大阪府	0	0	0	
和歌山県	0	0	0	ピーク時15市町村, -世帯, 868人
徳島県	0	0	0	ピーク時2市町村, 2世帯, 2人
計(判明分)	0	0	0	

3. 被害の状況

(1) 人的・住家被害（消防庁調べ：9月13日12時00分現在）

紀伊半島沖を震源とする地震

都道府県名	人的被害（人）				住家被害（棟）				
	死者	行方不明者	負傷者 （重傷）（軽傷）		全壊	半壊	一部破損	浸水 （床上）（床下）	
京都府				2					
大阪府				3					
和歌山県				1					
合計	0	0	0	6	0	0	0	0	0

東海道沖を震源とする地震

都道府県名	人的被害（人）				住家被害（棟）				
	死者	行方不明者	負傷者 （重傷）（軽傷）		全壊	半壊	一部破損	浸水 （床上）（床下）	
岐阜県			1	1					
静岡県				2					
愛知県			1	6			1		
三重県			2	6					
滋賀県				1					
京都府			1				1		
大阪府			1	9					
奈良県				3			2		
和歌山県				1					
兵庫県				1					
合計	0	0	6	30	0	0	4	0	0

(2) ライフライン（経済産業省調べ：9月6日9時00分現在）

（厚生労働省調べ：9月6日18時00分現在）

電力、水道等の供給停止戸数等

区分	管内	延べ戸数	停止中の戸数
電力	中部電力	約 200	0（地震発生後 18 分間）
	関西電力	約 300	0（9/6 2:46 解消）
水道	奈良県	15	0（復旧済）
	和歌山県	35	0（復旧済）

通信関係の状況（総務省調べ：9月6日20時00分現在）

- ・ 中部関西地方への通信に輻輳が発生し、固定電話、携帯電話で通信規制を実施したが、6日13時12分までに全て解除。
- ・ ボーダフォンの基地局4局（大阪市3局、三重県鈴鹿市1局）が停電の影響により停波していたが、6日15時45分までに全て復旧。

放送関係の状況（総務省調べ：9月6日20時00分現在）

- ・ 放送サービスに影響はない。

(3) その他(国土交通省調べ: 9月6日 3時00分現在)

- ・ 河川管理施設、道路施設及び港湾施設について、直轄、府県管理及び市町村管理のいずれも大きな被害の報告はない。

4. 政府の主な対応

(1) 災害応急体制の整備等

- ・ 官邸連絡室設置(9月6日0時05分)

(2) 各省庁の対応

内閣府の対応

- ・ 内閣府情報対策室設置(9月6日00時25分)

警察庁の対応

- ・ 関係管区警察局及び関係府県警察で連絡体制を強化(9月5日23時57分)
- ・ 警察庁災害警備連絡室を設置(9月6日00時15分)

消防庁の対応

- ・ 災害対策室設置(9月5日19時07分、23時57分)

防衛庁の対応

- ・ 各自衛隊航空機(計10機)による偵察活動を実施(9月6日0時27分以降)

海上保安庁の対応

- ・ 第4管区海上保安本部長を長とする対策本部設置(9月6日0時00分)
- ・ 第五管区海上保安本部非常配備態勢(9月6日0時10分)
- ・ 巡視船艇29隻、航空機5機により被害状況調査等実施

総務省の対応

- ・ 省内の情報収集体制を整備(9月6日0時30分)

文部科学省の対応

- ・ 災害情報連絡室設置(9月6日0時30分)
- ・ 地震調査研究推進本部第130回地震調査委員会が臨時会を開催(今回の地震について分析・評価(今回の地震は、地震調査委員会による東南海地震の想定震源域の外側で発生しており、発震機構も異なることから、想定東南海地震の震源域が破壊したものではないと考えられる。今回の地震活動が東南海地震に与える直接的な影響はないと考えられる))(9月6日13時00分)
- ・ 今回の地震活動の実態をより詳細に把握し、震源の深さ方向の分布を明らかにするため、海底地震計を5台設置。(9月8日から)
- ・ より広域の海域で25台の海底地震計を用い、余震の活動や震源分布の推移を正確に把握しようとする大学等の研究者に対し、科学技術研究費補助金を交付することを決定(9月10日)

厚生労働省の対応

- ・ 省内関係局庁の連絡体制を整備(9月5日21時00分)

農林水産省の対応

- ・ 省内関係局庁の連絡体制を整備（9月5日21時15分）

経済産業省の対応

- ・ 省内の情報収集体制を整備（9月5日19時30分）

国土交通省の対応

- ・ 国土交通省警戒体制（9月5日19時07分）
- ・ 国土地理院が、6日6時までの電子基準点（GPS連続観測点）のデータを解析した結果、地震に伴い三重県から愛知県の広い範囲が南へ移動（志摩半島付近で最大4cm程度）していることが判明。

気象庁の対応

- ・ 気象庁警戒体制（9月5日19時10分）
- ・ 紀伊半島沖の地震について、臨時の記者会見を実施（9月5日20時30分、22時00分）
- ・ 東海道沖の地震について、臨時の記者会見を実施（9月6日1時20分、2時45分）
- ・ 自己浮上式地震計による紀伊半島沖・東海道沖の地震活動の臨時観測を実施（9月16日～）